

資料 1) 地域がん医療研修会開催記録

開催日付	H23.6.9	H23.10.6	H24.2.9	
曜日	木	木	木	
時間	19時-21時	19時-21時	19時-21時	
場所	柏市中央体育館管理棟	アミュゼ柏 クリスタルホール	アミュゼ柏 クリスタルホール	
講演内容	明日から使える！がん疼痛薬物療法 ～鎮痛薬の特徴と使い方～ 沖崎歩(がん研究センター東 薬剤部)	『乳がんの基礎』 秋田 賢宏(がん研究センター東 薬剤部)	『ストーマ(人工肛門)の基礎と実際』 皮膚・排泄ケア認定看護師 小野 美文 先生	
	抗がん薬の副作用に対する薬の使い方 ～患者さんの目線に立った介入を目指して～ 鈴木真也(がん研究センター東 薬剤部)	『処方せんを見て考える乳がん治療薬』 丹田 雅明(がん研究センター東 薬剤部)	『大腸癌の化学療法』 ～治療選択と副作用マネジメント～ 板垣 麻衣(がん研究センター東 薬剤部)	
参加人数	88人(薬局83人+5人)	80人(薬局71人+病院9人)	117人(薬局76人+病院41人)	
施設数	50薬局+4施設	49薬局+5施設	40薬局+15施設	
参加薬局 の 所属支部	柏市(全99店)	37	33	27
	流山市	2	7	5
	野田市	4	5	3
	我孫子市	0	0	1
	その他	6(松戸市)+4(病院)+1(朝霞地区薬剤師会 会営薬局)	4(松戸市)+5(病院)	4(松戸)+15(病院)+2(個人)
	無回答	0	0	0

様のおくすりについて

平成23年12月6日現在

#退院時処方

<一包化>

薬剤名	規格	1回量	用法	朝食後	昼食後	夕食後	寝る前
オキシコンチン錠	5mg	1回1錠	1日2回	○ (8時)			○ (20時)
ファモチジンD錠	20mg	1回1錠	1日1回	○			
バイアスピリン錠	100mg	1回1錠	1日1回	○			
プロプレス錠	4mg	1回1錠	1日1回	○			
シグマート錠	5mg	1回1錠	1日3回	○	○	○	
ワソラン錠	40mg	1回1錠	1日3回	○	○	○	
カロナール錠	200mg	1回2錠	1日4回	○	○	○	○
セロクエル錠	25mg	1回0.5錠	1日1回				○

<適宜調節/頓用>

マグラックス錠	330mg	1回1-2錠	便の具合に合わせて
オキノーム散	5mg	1回1包	痛いとき
セロクエル錠	25mg	1回0.5錠	不眠時

#病名・処方目的

<肺癌術後・再発>

両肩・肋骨・脊椎に多発骨転移あり、放射線治療と薬物による疼痛治療を行っています。
ベースとなる薬物は、オキシコンチンとカロナールです。
疼痛時はオキノームを使用していただくよう指導しています。
カロナールは作用持続時間を考慮して1日4回、
オキシコンチンは本来12時間おきが望ましいところですが、
アドヒアランスの問題を解消するために「朝食後と寝る前」とし、他の薬剤と一包化しています。

<せん妄・認知症>

セロクエル錠25mgの0.5錠(=12.5mg)を寝る前の内服で対応しました。
せん妄悪化を回避するためベンゾジアゼピン系の追加は行わず、
不眠時もセロクエル錠の追加投与としていました。

<その他>

上記のほか、虚血性心疾患、急性大動脈解離に対して他院通院中でしたが、
それらの疾患に対応する薬剤も含めて当院から退院時処方し、一包化しています。
必要時はまた他院へ受診されることも予想されますが、薬剤については、
貴施設にかけつけ薬局となっていたいただき、継続的に提供していただければと存じます。
また、前立腺肥大症に対して尿道カテーテルを留置しています。

国立がん研究センター東病院
薬剤師